

I 令和元年度 資源循環局 運営方針

I 基本目標

- ◆「ごみと資源の総量」を削減(平成29年度比1.5%削減)
- ◆安心・安全で安定した廃棄物処理の確保と市民サービスの向上を追求
- ◆「SDGs」の視点を踏まえた持続可能な循環型社会の推進

II 目標達成に向けた施策

◇重点施策

プラスチック対策の推進

海洋汚染や生態系への影響から、世界的な課題として認識されているプラスチックごみへの対策として、分別の徹底や3Rを一層推進していきます。

- レジ袋やストローなど、ワンウェイ(使い捨てとなる)プラスチックの削減
- プラスチックの廃棄における分別・リサイクルの更なる推進
- プラスチックごみの海洋流出対策の推進

上記の3つを基本方針としたアクションプログラムを策定し、プラスチック対策を総合的に展開

食品ロスの削減

食品ロスの削減に向け、市民・事業者の皆様と一体となって、取組を加速させていきます。

- 食品ロス削減に向けた広報啓発やイベント等を開催
- フードバンク団体などと連携したイベント等でのフードドライブを実施
- 生ごみ減量化に向けた土壌混合法を普及
- 事業者に対し、「食べきり協力店」登録の働きかけや事業者表彰等を実施

◇推進施策

3R行動に向けた環境学習・プロモーションの推進	○イベント、住民説明会などの様々な機会を捉え、3R行動実践についての広報・啓発を実施 ○副読本作成や出前教室など子どもたちを対象にした環境学習の実施 ○焼却工場等を市民に開かれた拠点とし、市民の皆様と連携した普及啓発活動により3R行動を推進
安全・安心と市民サービスの向上	○家庭ごみの安定かつ効率的な収集・運搬を実施 ○ふれあい収集・いわゆる「ごみ屋敷」・外国人居住者など、ごみ出し等でお困りの方への支援 ○粗大ごみ受付センターの応答率を高めるなど、粗大ごみ排出の利便性を向上
まちの美化	○ラグビーワールドカップ2019 TM 、東京2020オリンピック・パラリンピック、TICAD7開催を契機としたまちの美化と市民サービス向上の推進(歩道清掃の強化、来街者への屋外喫煙ルールの周知、競技会場・観光地周辺5か所の公衆トイレ改修) ○新市庁舎周辺の喫煙禁止地区指定の準備
リサイクルの推進	○缶・びん・ペットボトル及びプラスチック製容器包装の資源化を推進 ○使用済み小型家電の回収量増加に向けた広報と回収ボックスの増設
地球温暖化対策・エネルギーマネジメント	○廃棄物関連施設の設備の更新によるエネルギー消費量の削減
持続可能なストックマネジメント	○焼却工場の整備基本構想の策定 ○廃棄物処理関連施設の安定稼働に向け、鶴見工場の長寿命化対策工事など老朽化した設備の改修や、適切な維持管理・補修を実施 ○最終処分場の適正な運営管理、ごみの減量化や焼却灰の資源化による延命化の推進
国際展開・技術開発の推進	○TICAD7などの国際会議や関連イベント実施の機会を捉え、本市廃棄物施策の取組をPR ○焼却工場の効率的な運営に繋がるIoT・AI技術の導入等を検討
適正処理の推進	○PCB廃棄物の市内事業者等への適正処理に向けた指導・市役所保管分の計画的処理 ○未把握のPCB廃棄物等の掘り起こし調査

III 目標達成に向けた組織運営

現場主義の強化

廃棄物やリサイクルに関わる全ての現場の目線を大切に、業務運営を行います。

多分野との連携

社会を取り巻く環境の変化に対応するため、福祉・災害対策・他の環境部門など様々な分野とつながりを持って取組を進めます。

信頼・期待に応える行政の推進

市民の皆様からの信頼確保に向け、事務処理ミスや不祥事・交通事故の防止など、リスクマネジメントに取り組めます。また、新市庁舎移転に向けた準備を着実に進めます。

職員の意欲と能力を発揮できる環境づくり

職員のワークライフバランスの実現を目指すとともに、意欲と能力を最大限に発揮できる職場環境を作ります。